



JWTC

Japan Women in Travel Club NEWSLETTER

広げよう！
人の輪 旅の輪



CONTENTS

- P1 会長の新春ご挨拶 / 勉強会 高齢者・障がい者の旅行利点と問題点
- P2 勉強会 アンダーズ東京見学 / 会社紹介 (株) ミキツーリスト
第8回サンパウロ便り / 新入会員紹介
- P3 総会&35TH Anniversary/JWTC活動年表
- P4 リレーエッセイ / 私のふるさと自慢 / 編集後記

ご挨拶



日本旅行業女性の会

会長 山科 ほとり

明けましておめでとうござい
います。

2016年を迎え、皆さまの
ご健康とご活躍を、心より
お祈り申し上げます。

昨年は、訪日旅行が急拡大の
勢いを増し、政府が2020年
の目標としていた2千万人は
前倒しで達成する見通しとな
りました。私のオフィスのある
東京スカイツリー周辺もいつ

大勢の外国人旅行者であふれ
ています。

また十一月にはパリで痛ま
しく悲しいテロ事件があり、
海外旅行にますますブレイ
キがかかってしまいました。
訪日客が増えるのも日本が平
和なればこそだからです。「旅
行業は平和産業」とつくづく
思います。人種、宗教、習慣
の異なる国内外の人々が互

JWTC 第2回勉強会

2015年11月21日(土) 参加者14名(会員9名、ビジター5名)

高齢者・障がい者の旅行 利点と問題点

NPO法人高齢者・障がい者の旅をサポートする会

理事長 久保田 牧子氏

2016年は障がい者差別
解消法が施行されます。

JWTC勉強会は会員のN
PO法人高齢者・障がい者の旅
をサポートする会(略称旅サポ)
理事長の久保田牧子氏を講師
に迎え、「高齢者、障がい者の
旅行 利点と問題点」をテー
マに勉強会を東京都障害者福祉
会館で開催しました。

自宅を一步出たら「旅」

「旅サポ」では、外出も旅と
捉え、高齢者、障がい者の誰
もが積極的に旅に出られるよう外
出の機会の体制作りを目標に活
動をされています。活動発足の
きっかけは、介護雑誌のイベン
トで知り合った方が、介護者を
いたがための温泉旅行で、周囲の
かたがたの強い勧めで仕方なく
体験した温泉入浴が本人の心に
深く触れ、「次はどこへいこう」と
口にされるほど歓喜された場
面に直面した事があったそうです。



久保田氏の流暢な説明に
うなずきながら真剣に聞き入る参加者たち

その時、「旅」の持つ力を強く感
じ、障害をもつ方も含め、全ての
人の旅環境作りを目指したいと
の思いを掲げたとのこと。

この会の活動は、1.旅のサポ
ート(同行お手伝い) 2.バリアフ
リー旅行の情報提供 3.旅サ
ポーター育成 4.旅関連の
UD(ユニバーサルデザイン)調
査などがあり、実際に旅に出か
ける際のヒントを整備、情報提
供をされています。利用料を安
く抑えられています。利用料を
広く活動を展開させたいとい
う強い思いから伺いました。



講義後の車椅子体験、実体験は
思うようにならず。久保田氏の
アドバイスの意味を知る

に理解する機会を提供し平和
をつくるのも旅行業です。
目まぐるしく変化する市場
に柔軟に対応し、平和に貢献
するためにも、今年はJWTC
が「人の輪 旅の輪」をさらに
大きく広げる年にしたいと思
います。一年間共に勉強し
活動に励みましよう。どうぞ
よろしくお願いたします。
(会長 山科 ほとり)

講義終了後は車椅子体験。介
助される側、介護者に別れて実
体験をしました。車椅子は
目的により車体も、車輪の大き
さもさまざま。足置きを安定さ
せる工夫、道の段差で車椅子を
持ち上げるときは、この原理
を利用する、要介護者を驚かせ
ないよう、腿の腹を利用するな
ど介護ヒントも学びました。
旅の力をQOL(人生の質・生
活の質)に生かそうとする活動
は、新マーケットの開拓というよ
り、旅というものが持つ新たな
テーマに向き合っていると感じま
した。旅行業の枠を超え、社会に
必要な事として、行政を巻き込
んで活動を進められないか、これ
からも皆で考え続けるべきテー
マで、明るく活動される久保田
氏に刺激された勉強会となりました。
(木村 晃子 シイ、エイ、エヌ)

JWTC 勉強会 アンダーズ東京 見学&食事も

2015年8月30日(日)
参加者会員15名



photo©Chieko Chiba

2014年6月11日に虎ノ門ヒルズ内にオープンした「アンダーズ東京」にてホテル見学を実施しました。まずは営業の方から簡単にホテルの概要について説明を受け、51Fのメインダイニングのアンダーズタヴァンの個室へ。ランチは和風な箱にご馳走が詰められた人気のランチボックスで、メインとデザートが2種類の中からチョイスできる。フレンドリーで礼儀正しいスタッフにサーブされるお食事はまた格別に美味しいと感じました。会長挨拶から始まった個室での食事は会員同士の話が弾み、交流も深まりましたが、できれば自己紹介や近況報告の機会が欲しかったという感想もありました。

ホテル見学は、毎日高稼働と説明を受けた通り、見学日当日も満室状態で、見学できたのはスタンダードタイプとプレミアムスイート。プレミアムスイートは選ばれた方にお泊り頂くお部屋との事で、眺望も含め、調度品も、全てにおいて納得がいく素晴らしさ。バンケットルームは披露宴があり、見学ができなかったのが残念でした。海外のお客様を意識したホテルづくりで、廊下、エレベーター、仕切り、すべてが和のテイストを大切にされた内装、ホテルのコンセプトを心地よく知ることができました。今回参加したメンバーは仕事としても、個人としても学び取った事は多かったかと思えます。

また、高稼働のご多忙の折、当日お世話になったスタッフの皆さまに、この場を借りてお礼申し上げます。
(木村晃子 シイ.エイ.エヌ)

連載 CHIEKO KANO H.I.S. Brasil Turismo Ltda. 狩野知保のサンパウロ便り



第8回 助っ人は“対人営業”

空路ウユニへ向かうアマズナス航空

サンパウロで旅行業に携わる中で、特にアウトバウンドで痛感する事は、何と恵まれた環境か、ということです。当地には多くの日本企業の駐在員がいて、おおよそ2~3年の任期サイクルで入れ替わります。この限られた駐在期間に、ブラジル国内に限らず中南米を中心に、短期3、4日から長期になると2週間以上の休暇を利用して積極的に旅行します。ここにビジネスチャンスがあります。常に新しい顧客が滞在員としてやってくる環境は、対人営業を必要としてくれます。日本ならばインターネットでチケットとホテルをさっと予約、気軽に旅行で済みますが、南米ではそうはいきません。英語がほとんど通じない言葉の問題もありますし、頻繁に起こるフライトのスケジュール変更など、煩雑な手続きを個人で処理する面倒を、われわれ旅行会社が請け負います。日本では考えられないこと。稼働の悪い便を突然フライトキャンセルにし、別空港の別便へ変更をしたり、オーバーブッキングの際、人為的に出発時間を若干早くし、チェックインの遅いお客様を別便へ変更する事もあります。こんな時こそスピーディで安心な対応を心がけ、ネット購入との差別化を図っています。

駐在員の方に今一番人気の南米内の渡航先は、日本でもここ数年で知名度がぐんと上がったウユニ塩湖です。唯一の空路ラパスからウユニまでは、先月までアマズナス航空の独占航路でした。日本人が好む鏡張りの季節は、雨期にあたる夏の12月中旬~4月中旬。年末年始や、カーニバル休暇は、多い日でも1日4便ほど、しかも1機僅か50人乗りのボンバルディアが、数か月前から満席になるという人気ぶりで、企画ツアーの航空券の仕入れは半年前でもやっとないう状況です。人気の魅力を確かめに、昨年末から年始にかけて私も足を運びました。驚いた事に、行きの便は日本からの団体ツアーの日本人とわが家3人だけで、機内では日本語が飛び交いました。雨期の日本人マーケットの活性化が理由では無いと思いますが、突然2か月前からアマズナス航空の予約が直入れに制限され、今まではCRSで簡単に残席や料金確認出来ていたものができなくなりました。せっかく新しい渡航先として認知、人気が上がってきたのに、手配し難くなることは、渡航需要の低下にもつながると心配していましたが、11月よりポリア航空が新規乗り入れをしました。フライト増便により、ウユニ塩湖人気はまだまだ続くことでしょう。次回もお楽しみに。

COMPANY 会員の会社紹介

(株)ミキ・ツーリスト

今野 淳子



青が映えるミキツーリスト社内の風景とクルーズのご案内

新たな旅の感動をお届けするために、世界中でさらなる旅の開拓を。

ミキ・ツーリストは、1967年、日本の海外旅行自由化とほぼ時を同じくして誕生して以来、長年に渡って、海外旅行市場の拡大・変化を見ながら、時代のニーズにお応えする質の高い旅を手配してきました。そして、今、旅のスタイルや流通形態が多様化する中、ツアーオペレーターとして専門性・独自性・先進性を更に高め、新たなチャレンジに取り組んでいます。

ミキ・ツーリストはヨーロッパのイメージが強いですが、中近東、南北アフリカ、ロシア、インド、ハワイ、北米、南米、オセアニアとワールドワイドに手配エリアを拡大し、旅のこだわりをもつ旅行者のニーズに併せて旅行素材をご用意しています。また、日本総代理店として、ロイヤル・カリビアン・インターナショナル、セレブリティ・クルーズの商品を独占的に手配・販売。2016年のゴールデンウィークには13万8,000トンの大型客船「マリナー・オブ・ザ・シーズ」が寄港し、「オールド上海ジャズが彩る美と健康クルーズ」「スポーツ界のレジェンドと航く夢のアクティブクルーズ」の2本立てで船旅をお楽しみ頂けます。

時代が変わり、お届けする旅のかたちが変わっても、ずっと変わらないものがある。それは「旅行者のために、おもてなしの心で、旅をお世話したい」という想い。旅行者の喜びを第一に、そして、旅行産業の更なる発展の為に、これからも旅のエキスポートとして旅の未来を創造し続けていきます。

OTOA 会員、国内支店：大阪、福岡他6支店 海外支店：ロンドン、パリ他20支店

MEMBER 新入会員紹介

沖縄ツーリスト株式会社

中野さん

桑江さん

中野 咲 会員番号 449

桑江 利恵 会員番号 448

このたび、入会させていただきました中野咲と申します。私は沖縄県出身で、現在は弊社東京支店に勤務しております。

入社して3年間は企画造成課に所属、仕入れ、商品造成、パンフレット作成に携わって参りました。現在は法人営業部でも法人のお客様の団体旅行などの営業・手配業務を担当しております。まだまだ業界について未熟な身ですが、仕事での関係各社様との出会いや、さまざまな業界イベントに参加させていただきながら日々の業務とともに勉強中です。

旅行業界の皆さまからさまざまな話をお聞きし、見聞を広める事ができますことを楽しみにしております。ご指導の程何とぞよろしくお願い申し上げます。

このたび、JWTCに入会し広報戦略部へ所属させていただくことになりました。今でこそ旅行の仕事しておりますが、新卒で建設会社へ入社し、当時はまだまだ男性主流の時代。建設会社では女性にできないこと、させてもらえない仕事も多くありました。15年程前に旅行の仕事に就いてからはその違いに驚くことも少なくなりました。正直、旅行業界に携わってからのほうが仕事にやりがいを感じています。

弊社は「2013 ダイバーシティ経営企業100選」に選定され、女性のみならず外国籍の社員活用など多岐にわたり多くの社員が活躍の場を得ています。今回の入会を機に、今後は社内活性化のため、さらには女性活躍の場を広げるため、この会を皆さまとの出会いの場とし、多くを学んで参りたいと思っております。よろしくお願いたします。

総会開催のお知らせ & JWTC 35th Anniversary

第36回総会を下記の通り開催します。

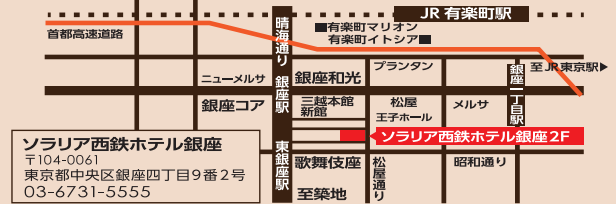
- 日時：2016年3月5日（土）10時～（予定）
- 場所：銀座フェニックスプラザ

懇親会は35周年のお祝いを兼ねた会にいたします。
記念講演も予定しています。

- 日時：2016年3月5日（土）12時～（予定）
 - 場所：ソラリア西鉄ホテル 2F「FURUTOSHI」にて
 - 会費：お一人様 7,000円
 - 記念講演：観光庁参事官 田中由紀様 「観光立国と女性の活躍」（仮題）
- 会員の皆さまには、万障お繰り合わせの上、ぜひご出席くださいますようお願いいたします。詳細は追ってお知らせいたします。



懇親会は35th Anniversaryをかねて、レストラン「FURUTOSHI」で



祝 35周年 | 30周年からの軌跡 |

JWTC 活動年表 2011～2015

開催日	活動内容	開催日	活動内容
2011	(名)=名古屋支部	2013	
1.22	(名) 勉強会 JWTC30周年記念講演報告会	3. 2	第33回総会
1.25	勉強会 JWTC会員の仕事を知る	5.15	勉強会 「東京ステーションホテル見学」【画像⑤】
2.26	第31回総会	5.18	(名) 勉強会 ベルシヤの魅力・ティネーションセミナー 講師：元イラン観光局長 茂木松弘氏
3.10	(名) 勉強会 太平洋フェリー ニューいしかり 内覧会	6.15	親睦会 貸切バスで行く新緑の那須・憧れの二期倶楽部 第1回JATA合同勉強会 講師：日本旅行業協会会長 菊間潤吾氏
5.28	特別勉強会 静嘉堂文庫美術館展示見学及び懇親会【画像①②】 講師：長谷川祥子氏（静嘉堂文庫学芸員）	7. 3	勉強会 青森の食を知る～東北応援企画～ 講師：料理研究家 高木順子氏
6.11	(名) 勉強会 ネパール・デスティネーションセミナー 講師：シュストラベル&ツアーズ長谷川裕子氏（元名古屋支部会員）	8. 3	勉強会 青森の食を知る～東北応援企画～ 講師：料理研究家 高木順子氏
7. 5	勉強会 エジプト・デスティネーションセミナー 講師：田窪ふみ子会員・田邊真利子会員	8.24	(名) 勉強会 旅と健康 ハイキング 講師：名鉄観光サービス国内旅行部副部長 三神敬氏
7.29～30	東北応援ツアー	8.24	特別イベント 東京水辺ラインクルーズと貞千代のお食事
8. 3	特別勉強会 健康な肌を保つための話（間違いだらけのスキンケア） 講師：成城皮膚整形科院長 原田学氏	10. 2	勉強会 イスラムの基礎知識（東京ジャーミー見学）
10.20	(名) 講演会 中部・三重の女性史について 講師：木下弓子会員	10.26～27	研修旅行 青森県視察研修（青森県観光国際戦略局）
10.22	勉強会 「ザ・キャピトル東急」見学	11.11	第2回JATA合同勉強会 講師：日本旅行業協会副会長 田川博己氏
11.23	親睦会 貸切バスでゆく歴史の街足利 学びとショッピングの旅（日帰り）	11.23	(名) 勉強会 徳川美術館・徳川園・名古屋城本丸御殿見学
11.26～27	研修旅行 佐賀県視察研修（佐賀県東京営業本部）	2014	
2012		3. 1	第34回総会
1.31	(名) 親睦会 伊勢神宮（日帰り）	3. 6	第3回JATA合同勉強会 講師：日本旅行業協会副会長 吉川勝久氏
2.25	第32回総会	4. 5	(名) 勉強会 ベトナム・デスティネーションセミナー【画像⑥】 講師：ベトナム航空 土肥氏
3.17	特別勉強会 日本の神社を知る 講師：神社本庁国際交流課長 岩橋克二氏	5.17～18	親睦会 新緑の季節に行く 青森ならではのカルチャーツアー（1泊2日）
4.21	(名) 勉強会 フラダンスと健康 講師：深谷佐和子会員	6. 7	(名) 勉強会 旅と健康 ハイキング・近江八幡
5.12	勉強会 タイ王国・デスティネーションセミナー 講師：タイ国政府観光局マーケティングマネージャー 藤村喜章氏	7. 3	第4回JATA合同勉強会 講師：日本旅行業協会運営役員・ （日本旅行業女性会第5代会長）木島榮子氏
6.23	親睦会 貸切バスで行く北茨城 復興応援ツアー（日帰り）【画像③】	9. 6	勉強会 メコン川流域の文化と魅力・デスティネーションセミナー 講師：NPO法人メコン・ウオッチ理事 木口由香氏 インターナショナル・クルーズ・マーケティングマネージャー 山口彰子氏
7.28	(名) 勉強会 元気に生き生きと過したい 講師：ファイナンシャルプランナー 谷上美保子氏	10.25	(名) 勉強会 松坂屋初代社長伊藤祐民の別荘・揚輝荘見学
9. 8	特別勉強会 佐賀の魅力を知るセミナー【画像④】 講師：佐賀県立九州陶磁博物館館長 鈴田由紀夫氏	11.19	親睦会 上海蟹と上海料理を味わう
10.30	勉強会 「パレスホテル東京」見学	2015	
11.17～18	勉強会 佐賀県の魅力を知る旅	2. 28	第35回総会【画像⑦】
12. 1	(名) 勉強会 京都・六波羅密寺の秘仏を訪ねて	3. 19	特別勉強会 十人会共催 エイチ・アイ・エス会長澤田秀雄氏講演会 新入会員オリエンテーション
		4. 18	第5回JATA合同勉強会 講師：日本旅行業協会理事・沖繩ツアーリスト協会会長 東良和氏
		5. 20	親睦会 日本で最も美しい村連合加盟の小砂地区を訪ねる
		8.30	勉強会 「アンダーズ東京」見学
		11.21	勉強会 高齢者・障がい者の旅行 利点と問題点 講師：久保田牧子会員



①	②	③	画像番号
④	⑤	⑥	⑦



パウエルンマーレイ

(株)京王プラザホテル

田辺 典子(会員番号353)



作品を前に、筆者(左)と榎原陽子先生

「パウエルンマーレイ」とその師である榎原陽子先生に出会ったのは、20年ほど前のこと。マーレイは16世紀から19世紀にかけてドイツ語圏で親しまれ発展した木製品への絵付けの技法で、トルペイントのルーツともいわれています。榎原先生はドイツ在住9年の間にこの技法を習得されました。ドイツ語でパウエルンは「農民や田舎風」、マーレイは「絵付け」を意味します。その言葉通り木製の小物や家具などに、花や木の実などの植物の絵付けをするのです。初めて先生の作品を拝見した時に、トレイや小物入れなどに描かれた素材で可憐な花や木の実に惹かれて、すぐに入門を決めました。

このできない農民達が春の訪れを待ちながら筆を運んでいた」との謂れを信じています。初めての作品のトレイは雑で荒削りですが、年を経るごとに描く植物の種類が増え、素材もコースター、傘立て、ゴミ箱や踏み台と、木製であれば大きさに関わらず何にでも描きます。習い始めてから規定の教材時代を経て、ここ数年は素材を自分で選び絵柄の種類や配置も先生と相談しながら好みを取入れたものを作っています。そして作品を大きく左右するのは配色。専用絵の具を何種類か混ぜ合わせてオリジナルの色を作ることが多いのですが、その作業中に偶然にも絶妙な風合いの色が出来ることもあるのも楽しみの一つです。

この技法の特徴は、専用絵の具の一つの色を筆に含ませその上に別の色を重ね、一筆で2色3色が美しく混ざり合うように描くこと。絵の具をたっぷり含ませて、葉や花びらに実際の厚みがあるように仕上げることなどです。ドイツの長い冬の農閑期に、農民達が家具に絵付けをしたことが始まりで、農作物に代わる収入源であったとの説もありますが、私は「閉ざされた厳冬の中、畑に出る

実は私は身の回りの「花柄」をあまり好まないのですが、マーレイだけは別格です。大きな作品は1年以上かかることもありませんが、完成したときの喜びはひとしおです。これからもドイツの田園風景に心をはせて製作を楽しみたいと思います。次回は、小峯留子さんにバトンタッチです。

生まれは大阪の堺。父が役人だったので転勤の繰り返し。その後、京都に移り、3歳の時に広島へ。父が出征し、母の実家のある北海道の岩内へ疎開。幼な心に、なぜか紙屋町という広島の名産だけが頭の隅に残っている。そのまま広島にいたら、完全に私はこの世にはいないはずだ。その後の70年はおまけの人生かもしれない。

岩内では幼稚園に半年通った後、札幌へ。小学校は札幌で入学、途中で三重県の津、卒業したのは大阪。またまた父の転勤で札幌へ。中学、高校の6年間を札幌で過ごせたのは、私の人生の中で大きな位置を占めている。札幌時代は小学校の時も含めて、夏休みになると岩内に行くのが楽しみだった。母の実家は呉服屋で、当時、祖父は仕入れて旅をすることが多かったから、雑誌「旅」があった。志半ばでJTBを受取る気になったのは、未だ学生時代、「旅」の編集長は戸塚文子さん。当時、女性をそのようなポストに就ける会社なんて無く、多分、女性が働き易い会社に違いない、と思っただけである。昭和29年に岩内に大火があった。町の半分以上が焼け、その後、

第7回 私のふるさと自慢
北海道札幌市・岩内町 西鳥羽 洋子
ウエンス

水上勉の小説でも有名になった。焼けた前の岩内は正統時代の鯉で栄えた名残があった、その昔は歌舞伎の公演もあったという劇場もあった。

又、岩内の画家・木田金次郎は有島武郎の「生れ出づる悩み」のモデルで、今、木田金次郎美術館が有名である。

岩内の隣が原発で有名な泊村。10年前に友人たちと車で岩内に行った時、泊村を通ったのが夕方、煌々と明るく、立派な家々を窓外に見た。岩内に入った途端町は暗く、家も貧弱。平成の大合併の折に、泊村が岩内の合併を断つたと聞く。そして、311の後、その時の光景を思い出し、納得した。私は岩内が合併されずに残ったのを嬉しく思っている。

その後、奈良から大阪の学校へ通い、結婚するまでは奈良で過ごした。東京での生活の方が長くなったが、私の今は、流浪の民の成れの果てと思っている。



ふるさとで行われたNPO雪環境プロジェクト視察会で。後列右から2番目が同副会長の筆者

編集後記

先日、ホテルのレストランをご利用の近隣のお客さまから、とても丁寧なお礼の手紙を頂戴した。車いすのお母さまと気分転換でホテルのレストランをご利用された際に、多目的トイレが使用中で長いこと待っていたが、清掃担当のおばちゃんから声を掛けていただき、別の多目的トイレまで案内していただいた。その上、帰りの道案内までしてくれましたという内容でした。文章にすると当たり前のように思えるかもしれないけれど、とても美しい文字で心温まるお褒めとお礼の言葉を共にいただき、とても心が温かくなりました。高齢になってくる母の姿と自分を重ね合わせたのかもしれない。Pay forward 一日一回、人に親切を。また思い出して実行しなくては。(M・N)

訃報 田中美智子様
JWTC 元名古屋支部長(名鉄観光サービス株式会社を定年退職)
平成27年10月31日ご逝去されました。
ここに謹んでお知らせし、心よりご冥福をお祈りいたします。

JWTC ニュースレター新春号 vol.36-1

発行日 2016年1月1日
発行所 山科ほっとりの会
編集・制作 日本旅行業女性の会 JWTC 広報戦略部
木村晃子 恵子
根本多美知子
Editor Designer 森下羊子
JWTC 事務局 〒107-0062 東京都港区南青山 2-22-15
クリヤビル7階
(株)ピコ内 電話 03-5411-7218
URL http://www.jp-jwtc.org/

